

外務大臣賞

「縁側から始まる日韓交流」

ハ アラン

Ms. HA A Lang

(韓国・大学生・愛知淑徳大学)

2002 年に来日。現在は愛知淑徳大学で日本語を専攻している。将来の夢はジャーナリストになること。日韓の文化、言語、社会の相違点、共通点について、日本語で記事を書きたい。



日曜日の夜、私はテレビでサザエさんをよく見ます。今は少なくなった大家族の様子が描かれているのですが、その中の日本は韓国ととても似ているのです。厳しいお父さん、家族の世話をするお母さん、孫を可愛がるおじいさん、おばあさん、そして、家族のような近所の人達・・・その漫画には人と人との温もりがあって私はとても好きです。そして意外なことに日本と韓国は家の造りもとても似ているのです。「日本の家は畳」という意識が強いせいか、畳のない韓国と日本では家の造りが違うとずっと思っていました。しかし、サザエさんの家は、私の祖父の家と錯覚するくらい似ているのです。

田舎にある祖父の家は私の夏休みの遊び場でした。夏休みになると祖父の家に行くのが一番の楽しみでした。トラを見つけると言って山に登ったり、豚にえさをやったりなど楽しかった思い出でいっぱいです。中でも特に好きだったのは、涼しい縁側で取ったばかりのスイカにかぶりつくことでした。その縁側が日本にもあることを知ってびっくりしました。皆さんは縁側に腰掛けたことがありますか？

縁側は軒下の部屋の外側にあります。それでは、縁側に座って外に脚を出しているとしたら、その人は家の中にいるのでしょうか？外にいるのでしょうか？体は軒下にあるけれど脚は外にあるのでその人は中でも外でもないところにいるのです。縁側は家の中と外を繋いでくれる不思議な空間のような気がします。私の祖父は郵便配達が来ると“おい、疲れただろう？こっち来てお茶でも飲んでけ！”と言って縁側に誘ったり、近所の人達と将棋をしたりして、縁側はいつも人でいっぱいでした。縁側は誰が来ても腰を掛けて親しくいろいろな話ができるところで中と外の空間を繋いでくれるだけでなく、人の心も繋いでくれる情が染み込んだ暖かい空間のように思います。

最近、日本は韓国ドラマブームで、近くのレンタルショップに行ってみても、広い韓国ドラマコーナーに圧倒されます。また、韓国に対する日本人の関心も高くなり“韓国のお水って麦茶なの？”“韓国じゃ女の人が片膝を立てて座るんだ”など以前にはなかった質問をされます。韓国の友達にも『冬のソナタ』が日本であんなに流行るなんて信じられない”と言われるなど、両方の国の人が持つ面白い好奇心に私はわくわくするのです。それは誰かが縁側に遊びに来たときの、あのうれしさを思い出させます。

今まで韓国は縁側に座ってずっと日本が垣根の向こうを通り過ぎるのを見ていました。他の国は遊びに来てくれるのに、日本はいつも通りすぎるだけでこちらを見てくれないから、寂しくて大きい声で叫んでみたり、「日本のバカ」って言うてみたりしましたが、日本は気づかないのかずっと来てくれなかった

のです。しかし、ある日、日本が垣根の外に立ってこちらを見ていたのです。最初、韓国はびっくりしたのですが、次にうれしくなりました。そこで“ちょっと座ったら？”と縁側に招き入れ、ようやく二人は縁側で話し始めました。

韓国は日本の植民地から独立して 50 年間、いろいろな機会に日本のことを取り上げ、ずっと日本を意識して来たのです。それに比べ、日本での韓国はどういう存在だったのでしょうか。2002 年の日韓共催ワールドカップまでは日本は韓国にあまり関心がなかったのではないのでしょうか。しかし、ドラマをきっかけに、やっど‘隣の国、韓国’はどういう国なのか、目を向けてくれたような気がします。日本人と韓国人が向きあって話せるチャンスが来たのです。今の韓流ブームは一時的かもしれませんが、ドラマブームだけが日韓関係を解決してくれるとは思いません。でも、私は韓流ブームが縁側の役割を果たしているように思うのです。

中の人とは外の人を家族のように迎え入れ、また外からは気安く中に入って休めるところ—縁側。そんな縁側があるから、いろいろな話ができて、お互いの理解を深められるような気がします。縁側は寂しかったこと、誤解していたこと、全部話して最後には“またくるね”と言えるところです。思い切りケンカして、きまりが悪くても次の日には仲直りができるところが縁側なのです。その暖かい縁側は、韓国だけではなく日本にもありました。お互いのことを一緒に喜んだり、悲しんだりすることができる、韓国と日本はきっと他のどの国よりももっと分かり合えるはずです。最近、縁側はあまり見られなくなりましたが、本当の縁側は私たちの心にあるのではないのでしょうか。私は大勢の人が入れるように大きな大きな縁側を作りたい！韓国と日本が縁側で心から打ち解けて笑っておしゃべりできる日を心から願いながら……